

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス はなうーる(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	R8年 3月 18日		～ R8年 3月 31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R8年 3月 18日		～ R8年 3月 31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 5月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柔軟な対応力とチーム連携 職員同士の連携が以前より深まり、個人のスキルも上がって来ているので、児童一人ひとりの状況に応じた柔軟な支援が行える体制が強化されている。	・定期的な会議や日々の声掛けを通して情報共有を実施・支援内容や役割分担をその都度確認しながら対応・児童の状況に応じて活動内容を柔軟に調整	・ICTや連絡ノートを活用し、情報共有をさらに効率化・外部研修への参加を継続し専門性を向上・個別支援計画の見直しを定期的に行う
2	児童・保護者との信頼関係 日々の丁寧な関わりを通して、児童が安心して通所できる環境づくりが進み、保護者との信頼関係もより深まっている。	・笑顔や丁寧な声掛けを意識し安心感のある支援を実施・家庭や学校との情報共有を継続・保護者からの相談にも丁寧に対応	・定期面談やアンケートを通してニーズを把握・家庭での様子を支援に反映する取り組みを強化・保護者交流会や活動報告を充実させ関係性を深
3	多様な体験を通じた充実したプログラム 季節行事や外出活動など体験型の活動を継続することで、児童が楽しみながら成長できる機会が増えている。	・毎月職員間で活動内容を話し合い目的を共有・地域行事や外出活動を積極的に企画・児童が主体的に楽しめる内容を意識して実施	・児童の興味関心に応じた選択制プログラムを検討・地域資源や外部講師の活用を進める・活動後の振り返りを取り入れ学びの定着につなげる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境整備と情報共有の課題 支援環境や情報共有の面で改善は進んでいるが、児童の特性に応じた環境整備や統一した情報発信には引き続き課題がある。	・日々の支援業務の中で整理や共有の時間が不足しやすい・職員間で情報共有方法に差が出る場面がある・設備改善に向けた準備や検討に時間を要している	・情報共有ルールや記録様式を統一し伝達ミスを防ぎ・掲示物や活動報告を活用し保護者へ分かりやすく発信・レイアウト変更や視覚支援など小さな改善から段階的に実施
2			
3			